

日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会が10月13日、千代田区竹橋のKKRホテル東京で開催された。

協議会では冒頭に池村好道日本教育大学協会副会長（秋田大学教育文化学部長）が、「来年度の国立大学関係予算の確保や中央教育審議会における議論の動向等、我々が注視していかなければならない課題等が多々ある中で、教大協としても政策提言を行っていくために規約改正を行い、企画委員会を中心に議論を開始した。本日も今後の方向性を出していくうえで会員大学・学部から様々なご意見をいただきたい。」と述べた。

続いて常盤豊大臣官房審議官の挨拶では、「教員養成系の大学については、教員養成の充実という視点と国立大学としての機能強化という二つの取り組みを進めていくことが求められている。さらに、中央教育審議会において、教員の資質能力の向上方策について検討が進められているが、それらの議論を待つことなく、各大学・学部においては教員養成の改善のための取り組みを進めていただきたい。また、来年度予算については、日本再生重点化措置を含めて、必要な支援を行っていきたい。全国の教員養成の中核となるべき国立教員養成系大学・学部においては、質の高い教員の養成を通じて、より多くの国民から理解が得られるようより一層のご努力をお願いしたい。」と述べた。

その後、藤原章夫高等教育局大学振興課長から①「高等教育局主要事項－平成24年度概算要求－」、②「平成24年度国立大学法人運営費交付金概算要求・要望の概要」、③「質の高い教育を実現するための教員養成機能の充実」等、日向信和大臣官房教育改革調整官から「中央教育審議会『教員の資質能力向上特別部会』基本制度ワーキンググループの審議動向」、田中賢一初等中等教育局教職員課教員免許企画室室長補佐から「教員免許更新制の実施状況等について」、黄地吉隆生涯学習政策局政策課専門調査官から「教育振興基本計画について」、梶山正司初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長から①「新学習指導要領全面実施に向けた広報・周知活動」、②「復興教育支援事業」についての説明があり、説明後には活発な質疑応答が行われた。

休憩後は、松田正久常務理事（愛知教育大学長）から当日に行われた常務理事会の報告があった後、各委員会の審議状況について各委員長から報告があった。その後、各大学から提案された議題及び教員養成を取り巻く状況について意見交換を行った。

また、夕方には同会場で情報交換会があり、近藤和雄副会長（お茶の水女子大学附属中学校長）と常盤豊大臣官房審議官の挨拶に続いて、企画委員会委員長の田中喜美東京学芸大学理事・副学長の音頭で乾杯となり、大いに歓談し親睦を深め、金本正武附属学校委員会委員長（千葉大学教育学部附属小学校長）のリードで「ふるさと」を全員で唱和し閉会となった。



常盤大臣官房審議官



左から藤原大学振興課長，常盤大臣官房審議官，矢倉議長（金沢大人間社会学域学校教育学類長），池村副会長，近藤副会長，大槻事務局長



藤原大学振興課長



日向教育改革調整官



梶山教育課程企画室長 黄地専門調査官 田中教員免許企画室補佐



文部科学省からの行政説明に聞き入る各学長・学部長等の参加者（KKR ホテル東京）

《情報交換会》



近藤副会長



田中企画委員会委員長の音頭による乾杯



左から大槻事務局長，佐川北海道教育大学副学長，常盤大臣官房審議官，須原教員養成企画室専門官，長尾大阪教育大学学長，本間北海道教育大学学長，山下教職員課長，松田愛知教育大学学長，藤原大学振興課長



金本附属学校委員会委員長